4 次年度の作付に向けて確認しておきましょう
6 次年度のひがしかわサラダ生産に向けて
8 資源米生産に関する試験調査
9 トピックス
11 人間ドック予約状況表 年末年始営業の御案内
12 来月のカレンダー

大雪清流 てっぺんだより

JA Higashikawa Public relations magazine Daisetsu Seiryu Teppen Dayori

特集：農林水産大臣 宮下一郎 氏が来所

みずと くらす。 JAひがしかわ

12 2023
vol.604

宮下一郎 農林水産大臣が来所！

「ひがしかわライスターミナル」工事現場での集合写真
左より菊地町長、牧組合長、宮下農相、樽井会長、平形農林水産省農産局長

11 月 18 日（土）、宮下一郎農林水産大臣が北海道農業の現場視察、関係者との意見交換を目的に当 JA を訪れ、「ひがしかわアグリ 2050 宣言」の展開や現在建設中の「ひがしかわライスターミナル」工事現場への視察、輸出用米・資源米などの JA 独自の取組みについて意見交換を行いました。

当 JA にあっては、現職の農林水産大臣の訪問は初めてのことであり、また、直接大臣より東川産農産物や産地の活動に対し、温かい激励のお言葉を頂きました。組合員・役職員にとっては大変な名誉であり、今後の取組みの励みとなりました。

JA 女性部が作った「ななつぼしの甘酒」を会場の皆様にふるまいました。試飲された方々からは「お米本来の美味しさが際立ちとてもおいしかった」との言葉もあり、また、宮下大臣から直接、女性部の方々へお礼を伝えていました。

牧組合長から宮下農相への説明内容

■ひがしかわアグリ2050宣言について

本宣言は、SDGs に賛同し、国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、持続可能な農業の実現を目指すことを目的とし、昨年 6 月に宣言しました。資材やエネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進、イノベーションによる持続的生産体系の確立、ムリ･ムダのない持続化可能な加工製造･流通システムの確立、環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進に積極的に取組みます。

※JAひがしかわ資材倉庫

■ひがしかわライスターミナルについて

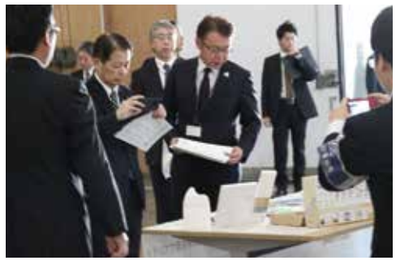
※ひがしかわライスターミナル工事現場

北海道初の精米機能を持ち、玄米、精米を一括管理できる施設です。機能の一つである玄米殺菌（LLRP装置）ラインを用いて米の保存性を向上させ、海外輸出に貢献します。また、精米機は栄養成分を残した精米が可能となり、医療機関や高齢者施設、学校（給食）に提供し、地域住民の健康増進にも寄与してまいります。

■東川米輸出事業について

当 JA は、米の国内消費量が将来、大きく減少すると見直し、平成 21 年産から台湾を皮切りに、平成29年にロシアへの販売促進活動を開始、平成 30 年産よりロシア、令和2年以降、中国、香港、シンガポールなど本格的に取組みを開始した。さらに「ひがしかわライスターミナル」精米工場の運営が本格化される令和 9 年までには本町生産の 1 割以上（1，200ﾄﾝ）の米を世界に輸出する計画です。

令和4年8月には「輸出事業計画」の承認ならびに「GFPグローバル産地計画」を設定した。今後は、輸出商品の「GI（地理的表示）」取得を目指し、日本一のグローバル産地化を目指し輸出事業展開してまいります。



※米穀低温倉庫内

次年度の作付に向けて確認しておきましょう

農閑期こそ自身の営農を振り返る良い機会です。今年度の反省点および次年度に向けての課題を確認しましょう。また、水稲育苗床や本田の土壌診断を実施し適正施肥を行いましょう。

1. 病害虫について

◆アカヒゲホソミドリカスミカメ発生状況

今年度、病害虫発生予察が7月14日～8月19日までの期間で合計8回行われましたが、本町については、水田・畦畔ともに合計21匹確認され、昨年度よりも発生が多くなりました。また、平年よりも発生が早く、7月上旬～下旬にかけ多発しました。

今年度、カメムシによる大きな被害は見受けられませんでしたが、次年度以降も病害虫発生予察を継続して実施いたしますので生産者ご自身でも圃場巡回や予察を行い、防除のタイミング（出穂期及び出穂から7日後）を見極め、基幹防除を実施しましょう。

巡回調査によるアカヒゲホソミドリカスミカメ成幼虫の20回振りすくい取り数

普及センター		地点数	畦畔 7月3半旬 本年	畦畔 7月3半旬 前年	畦畔 7月6半旬 本年	畦畔 7月6半旬 前年	水田 7月6半旬 本年	水田 7月6半旬 前年
空知	本所	6	0	0.1	0.3	1.6	2.5	5.9
	南東部	2	0	0	3.0	3.5	0	0.5
	南西部	3	9.0	11.7	6.0	17.7	2.0	4.3
	中空知	4	4.5	5.8	13.0	2.8	0.3	1.5
	北空知	7	0.9	2.1	1.1	2.0	0	2.0
石狩	本所	3	3.3	6.7	6.7	26.7	17.7	5.0
	北部	7	1.6	0.6	0.6	1.6	3.1	6.3
後志	本所	4	1.0	1.3	0.8	1.0	0.5	2.8
胆振	東胆振	4	0.8	0	0	3.0	0	3.8
日高	西部	2	0	0	0	0	0	0.3
渡島	本所	1	0	0	0	2.0	1.0	0
檜山	本所	2	1.0	0	0	0.5	0.5	1.0
	北部	2	0.5	0.3	0	1.5	0	0.3
上川	本所	7	0.4	5.0	2.0	4.7	1.0	0.7
	富良野	3	0.3	8.5	0.7	0	2.0	5.8
	大雪	4	0.8	8.5	2.0	4.0	0.3	2.5
	士別	3	3.3	11.7	0	1.3	0	5.8
	名寄	3	3.0	4.3	0	4.7	0.3	6.7
留萌	本所	4	0	7.0	1.5	3.1	0	0.5
	南留萌	2	0	1.5	1.0	3.0	1.0	1.5

北海道病害虫防除所「病害虫発生予察情報７月報」より

◆ウンカ類・縞葉枯病

近年、「縞葉枯病」の発生が散見されております。「縞葉枯病」を感染させるのがウンカ類です。今年度の予察においても発生が散見されました。発生が年々増加傾向にあるため、今後対策が必要となります。防除体系にウンカ類登録のある薬剤を選定するなど対策を講じましょう。

2. 被害粒対策について

◆被害粒対策

先月号でも掲載しておりますが、今年度、本町で多発した被害粒として「乳白粒」（シラタ）が挙げられます。多発した要因としては、成熟期に高温（高夜温）にあたってしまい、デンプンの形成が不十分であったことが考えられます。対策として、気温が下がる夕方以降に圃場へ入水し、圃場内の水温・地温を下げましょう。また、落水時期に高温が続く場合は走り水を行うことも効果的です。適正な水管理を行うことにより、被害粒（白未熟粒・胴割れ粒）の発生が少なくなります。

3. 土壌診断結果で留意する測定値を確認しましょう

次年度の作付に向けて、水稲育苗床・本田の土壌診断を実施しましょう。水稲育苗床・本田にはそれぞれ測定値によって施肥成分量を決める項目があります。

（1）水稲育苗床の注目する数値

●リン酸

長年ハウスを利用しているとリン酸が蓄積し、数値が高くなります。目標値を超えている場合はリン酸の施肥率は０％（投入しなくてよい）という判断となり単肥の設計を行います。リン酸が高いままポットで育苗した場合、リン酸過剰症が発生する可能性が非常に高くなりますので注意が必要です。

●苦土

苦土とは「葉の葉緑素の構成」「光合成に関与」する成分です。リン酸値が高いと苦土の吸収が阻害され、作物自体が吸えない状況となります。また、本町については苦土が非常に低い傾向にありますので、苦土が低い場合は苦土入りの肥料を選定します。

表１　水稲育苗床診断値

土壌分析結果			
項目	単位	分析値	目標値
pH	—	4.1	4.5～5.0
EC	mS/cm	0.2	-
リン酸	mg/100g	78	20～40
石灰	mg/100g	83.7	150～300
苦土	mg/100g	5.2	25以上
カリ	mg/100g	14.3	15以下
熱抽窒素	mg/100g	-	-
培養窒素	mg/100g	-	-
リン酸吸収係数	—	-	-
腐植	—	-	-
CEC	me/100g	-	-
珪酸	mg/100g	-	-
鉄	%	-	-

（2）本田の注目する数値

●培養窒素

土壌中に含まれる培養窒素の値で基肥窒素量が下記の通り変わります。

培養窒素値 (mg/100g)	基肥窒素量 (kg/10a)
０～７．０	９．５
７．１～１５．０	９．０
１５．１～１８．０	８．５
１８．１～	８．０

この数値を基に基肥及び側条に投入する窒素量を決めています。土壌診断を実施し適正施肥を行いましょう。

表２　水稲本田診断値

土壌分析結果			
項目	単位	分析値	目標値
pH	—	5.3	5.5～6.0
EC	mS/cm	0.03	-
リン酸	mg/100g	31.5	20～40
石灰	mg/100g	106.6	150～300
苦土	mg/100g	12.6	25以上
カリ	mg/100g	9.5	15～30
熱抽窒素	mg/100g	-	-
培養窒素	mg/100g	12.4	6～10
リン酸吸収係数	—	-	-
腐植	—	-	-
CEC	me/100g	-	-
珪酸	mg/100g	10.5	16以上
鉄	%	1.6	2

（3）基盤整備後の施肥設計

先月号に掲載しておりますが、基盤整備後の施肥については培養窒素量・土壌型によって窒素施肥率が異なるため必ず土壌診断を実施しましょう。

次年度のひがしかわサラダ生産に向けて

今年度は高温や降雨の影響により多くの病気や生理障害の発生が多発しました。今年度の生育状況を再度振り返り、課題や改善点を把握するとともに、次年度作付に向けた準備を行いましょう。

野菜

○今年度発生した生理障害及び病害虫

◆果菜類

- 夏季の記録的な高温により、生理障害や病害虫被害が多発しました。トマト類では石灰欠乏やハダニによる加害のほか、すすかび病の発生が散見されました。ピーマンでは、アザミウマや連作障害の一つであるネコブセンチュウ類による被害が確認されております。次年度以降は、高温対策はもちろん、土壌消毒など連作障害対策が重要です。

【アザミウマ（トマト）】

【すすかび病】

【ネコブセンチュウによる被害】

◆長葱類

- 軟白長葱では、アザミウマによる加害が多く散見されました。また、萎凋病などの連作障害の発生も見られております。連作障害対策としては果菜類同様、土壌消毒を実施しましょう。アザミウマなどの害虫被害が多発する場所では薬剤防除のほか、防除ネットの活用や圃場周辺の除草などが有効です。
- 露地長葱では、降雨や高温の影響により腐敗病の発生や生育後半にはさび病の発生が見られました。圃場の透排水性改善や防除体系の見直し等対策を講じましょう。

【腐敗病】

【さび病】

◆露地野菜類

- 露地野菜類については、生育期間中の断続的な降雨の影響や高温により病気の発生が目立ちました。ブロッコリーでは軟腐病や黒すす病の発生が見られ、スイートコーンでは倒伏細菌病が発生しました。対策として圃場の透排水性改善や適期防除を行いましょう。特にスイートコーンについては病気に効く薬剤がないことから、耕種的防除が重要となります。

【黒すす病】

【倒伏細菌病】

◆葉菜類

- 葉菜類においても、連作障害の発生が見られております。ほうれん草では立枯れ病やタネバエによる被害が見られ、小松菜については根こぶ病などの被害が見られております。葉菜類については年に複数回作付けするため、連作障害の発生も多くなる傾向にあります。また、要素障害ややけ症状も見られました。特にほうれん草は高温の影響を受けると生育不良となりやすいため、換気や遮光資材の活用など暑さ対策が必要となります。

【立枯れ病】

【根こぶ病】

【やけ症状】

※具体的な対策等については、各部会の総会や講習会にて説明いたします。

※近年、連作障害による被害が散見されております。ご自身の圃場で生育不良などの症状が見られた場合は連作障害の恐れがあるため、土壌消毒や堆肥などによる土壌改良を行いましょう。また、土壌診断についても随時受付しております。作付前には必ず土壌診断を実施するようお願いいたします。

■資源米生産に関する試験調査結果報告

「ライスレジン用資源米」の栽培実証圃を設置し、上川地区における「資源米栽培体系モデル」の確立を目的とした令和5年度資源米生産試験調査の結果を下記の通り、ご報告します。

■調査内容

①圃場選定型多肥栽培　　調査場所：上川郡東川町東３号北31番地　圃場　229.6ａ

農地再編整備事業や田畑転換等により、地力の高い復元田や土壌別の窒素依存度とし肥料を調整する圃場選定型多肥栽培試験を実施します。

現在の作業体系を変えることなく、水稲（資源米）や転作作物の生産を可能とし、今後見込まれる担い手への農地集積・経営規模拡大にも耐えうることのできる営農体系技術を調査します。

②省力化技術活用型栽培　調査場所：上川郡東川町西５号北31番地　圃場　201.3ａ

多収性品種の育苗技術（短期苗）等により、既存施設を活用した育苗コストの低減、田植作業の省力化等の省力化技術活用型栽培試験を実施します。

上川地区における短期苗の「資源米の適用性」と農地集積・経営規模拡大に伴う育苗施設など、新たな設備投資を抑制させ、資源米生産の収益確保や稲作労働環境の整備状況を調査します。

■結　果

①収穫実績　614.8kg/10ａ（14,116kg＋屑452kg）

②収穫実績　622.4kg/10ａ（12,530kg＋屑112kg）

資源米は農産物検査規格３等でも問題なく出荷できることから、調整ロスを減らすことができ、全体収量を上乗せすることが可能となりました。また、資材費の高騰により直接費は増加したものの、コメ新市場開拓用等促進事業の活用により交付金収入を上乗せできたことから、両モデルとも主食用米の慣行栽培の所得試算とほぼ同等の所得となりました。

令和６年度は、内容を推進会議で協議・検討し試験調査を継続実施していきます。

■今後のライスレジン製品の普及について

東川町

10月12日に開催された資源米の出荷式において、来年４月より道内自治体で初めてライスレジンを使ったゴミ袋に切り替えることを公表しました。

コープさっぽろ

今年５月より非食用米を活用した国産バイオマスプラスチックであるライスレジン®製のレジ袋を一部の店舗にて導入していましたが、10月12日より全108店舗にて順次導入いたしました。

JA HIGASHIKAWA Topics

JAひがしかわ女性部 学童保育おやつ作り

10月18日（水）、学童保育おやつ作りが行われました。

今回のおやつは、学童保育おやつで一番人気の学校田で栽培されたじゃがいも“とうや”を使用したフライドポテトで、子供たちは「甘くて美味しい！」と完食していました。

学童保育おやつ作りは、今年度は残り5回行われます。

JAひがしかわ青年部 キャラバン隊事業および道内視察研修

10月29日（日）から30日（月）に、JAひがしかわ青年部キャラバン隊事業の東川農産物の販売促進と道内視察研修を行いました。

東川農産物の販売促進では、コープさっぽろソシア店にて、東川米とひがしかわサラダの販売、東川米の試食とアンケート調査を行いました。アンケートの回答には、「JAひがしかわ青年部の活動に期待している」「これからも美味しいお米を作ってください」と消費者からのあたたかいコメントをたくさんいただきました。

道内視察研修では、ヤンマーアグリジャパン北海道支所と、エスコンフィールドHOKKAIDOを視察しました。

JA上川地区女性協議会中央部Bブロック研修会

11月1日（水）、JA東神楽にて、JA上川地区女性協議会中央部Bブロック研修会が開催され、JAひがしかわ女性部 部員17名が出席しました。

午前の部では、健康運動教室 三澤健康運動士を講師に迎え、家の中でも気軽にできる運動指導を受け、生活の中で意識しながら体を動かす大切さを学びました。午後の部では、花詩 佐々木店主を講師にフラワーアレンジメントを作成し、部員同士で作品を見せ合い交流を深めていました。

金賞健康米を町内の学校給食へ

11月2日（木）、10月12日に町へ贈呈した金賞健康米が学校給食として提供されました。提供に伴い、JAひがしかわ女性部とJA職員が、東川小学校、東川第一小学校、東川第二小学校へ出向き、東川米の特徴や金賞健康米の栄養素などを説明しました。子供たちは「いつものお米よりたべやすい」などと普段食べているお米との違いを感じながら食べていました。

早期発見、早期治療のために
人間ドックを受診しましょう！

ご家族、大切な方のために、そして何よりご自身のために受診をおすすめします。
■旭川厚生病院「人間ドック」予約状況

2024年1月

日	月	火	水	木	金	土
	1 ×	2 ×	3 ×	4 ○	5 ○	6 ×
7 ×	8 ○	9 ○	10 ○	11 ○	12 ○	13 ×
14 ×	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○	19 △	20 ×
21 ×	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○	26 ○	27 ○
28 ×	29 ○	30 ○	31 ○			

2024年2月

日	月	火	水	木	金	土
				1 ○	2 ○	3 ×
4 ×	5 ○	6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 ×
11 ×	12 ×	13 ○	14 ○	15 ○	16 △	17 ○
18 ×	19 △	20 ○	21 ○	22 ○	23 ×	24 ×
25 ×	26 ○	27 ○	28 ○	29 ○		

正組合員（本人・同居家族）
准組合員限定
人間ドック検診費用助成
厚生病院での一般受診料金
44,000円が
31,900円に！
※オプション検査は助成対象外

男性：月曜日・水曜日・金曜日、女性：火曜日・木曜日
予約表の見方：○10名以上の空き　△残りわずか　×予約が埋まっています
お申込み順となるためご希望日が埋まっている場合もございます。
人間ドックの申し込みや、お問い合わせは営農指導課（℡82-2124）まで

年末年始営業のご案内

	12月29日 金	12月30日 土	12月31日 日	1月1日 月	1月2日 火	1月3日 水	1月4日 木	1月5日 金	1月6日 土	1月7日 日	1月8日 月
JA事務所	8:30~17:00	休業									
金融課窓口業務	9:00~16:00	休業					9:00~16:00	9:00~16:00	9:00~14:00	休業	
農協 ATM	8:45~18:00	9:00~14:00	休業				8:45~18:00	8:45~18:00	9:00~14:00	休業	
役場 ATM	9:00~16:00	休業									
アグリサポートセンター	8:30~17:00	休業									
スタンド	8:00~18:00	8:00~18:00	8:00~15:00	休業			8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00	8:30~17:00

■提携ATM、農協ATM稼動時間は110円、非稼動時間は220円の手数料が発生しますので計画的にご使用ください。
■提携ATM等の稼働時間や手数料はATMにより異なります。詳しくは、ご利用ATMの掲示等でご確認ください。

通常営業時間

	平日	土曜日	日曜日・祝日
JA事務所	8:30~17:00	奇数週のみ営業 8:30~12:00	休業
金融課窓口業務	9:00~16:00	休業	休業
共済課	9:00~16:00	奇数週のみ営業 9:00~12:00	休業
アグリサポートセンター	8:30~17:00	休業	休業
スタンド	8:00~18:00	8:00~18:00	8:30~17:00

■ご不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。　■変更点がございましたら、防災無線でお知らせいたします。

JA HIGASHIKAWA Topics

ベトナム国ホーチミン市商業合作連合（サイゴンコープ）産地視察研修

11月4日（土）、ベトナム国内最大の小売連合組織であり、平成28年12月にコープさっぽろと事業連携協定を締結しているサイゴンコープの産地視察研修が行われました。

当日は、JAひがしかわ事務所2階ホールにて、東川産食材とベトナム食材を使用した昼食が振舞われ、東川農業の概要やJAひがしかわの取組について紹介し、意見交換が行われました。

その後、せんとぴゅあ、日本語学校、三千櫻酒造株式会社の視察が行われました。

JA北海道大会実践フォーラム

11月7日（火）、ニューオータニイン札幌にて、「食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業の確立に向けた展開方向」の実践並びに大会決議事項の実現を加速させるため、JA北海道大会実践フォーラムが開催され、全道から青年部・女性部組織、各連合会役職員、JAなど約700名が参加しました。

大会で掲げる北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の実現へ向けた現状課題や実践事例が発表され、当JAにつきましても、持続可能な東川農業の実現を目指す「ひがしかわアグリ2050宣言」を基軸とする「JA運営の好循環」モデルの事例として挙げられました。

佐川友彦氏「講演会」開催

11月10日（金）、JA事務所2階ホールにて、ファームサイド株式会社の佐川代表取締役を講師を招き、「経営改善で実現する　これからの農業経営」をテーマに講演会を開催しました。

佐川代表取締役は、農業現場や経営改善の経験から、農業改善の希望と農業の可能性を全国に届けるため、講演会やセミナー活動を行っています。

講演会は、経営課題は伸びしろであり、小さな改善が経営改善を実現するとお話がありました。この機会に、これからの農業経営を考えてみてはどうでしょうか。

JAひがしかわ女性部捨て布づくり

11月21日（火）、JA本部事務所2階ホールにて、地域福祉事業の一環として、社会福祉施設に寄付することを目的に捨て布づくりが行われ、部員14名が参加しました。

各家庭で使用しなくなった古布を集め、丁寧に裁断した捨て布は、代表して津谷部長より特別養護老人ホーム羽衣園へ引き渡しを行い寄付いたしました。

2023年 12月の予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	JA事務所・金融課・アグリサポートセンター仕事納め
30	土	
31	日	スタンド納め

2024年 1月の予定

1	月	JA全業務休業
2	火	JA全業務休業
3	水	JA全業務休業
4	木	
5	金	5の付く日（スタンド店頭ガソリン・軽油5円引き）
6	土	

理事会の動き

第15回 理事会　日程：令和5年11月22日（水）

【議決事項】

議 案 1 号　８月末定例監査の回答について
議 案 2 号　目的積立金の取崩しについて
議 案 3 号　１０月末決算推定について
議 案 4 号　クミカン利用料等の設定について
議 案 5 号　土地評価基準の設定について
議 案 6 号　理事の利益相反取引について
議 案 7 号　規程類の改正について
議 案 8 号　労働組合からの年末手当の要求について

資材課からのお知らせ

資材課では、12月11日（月）より農薬・包装資材の取りまとめを行います。

営農コスト上昇の影響緩和に向け取りまとめのご協力をお願い致します。

注文、お問い合わせは、資材課（TEL 82-2054）まで

お申し込みはお近くのJAへ　JAグループ 家の光協会　〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11　TEL. 03 - 3266 - 9039　http://www.ienohikari.net

農協文庫 新刊

ぜ～んぶひとりでできちゃう！
小学生のお菓子ブック

塩麹・酒粕・甘酒でつくる
寺田本家のおつまみ手帖

最強無敵の雑草たち
10歳から学ぶ植物の生きる知恵

JAひがしかわ事務所前エントランスにて展示しておりますので、ぜひお立ち寄りください。

●葬儀・法要のご用命は…24 時間フリーダイヤル

JA事業推進係　0120 － 82 － 2125へ

〒071-1495　北海道上川郡東川町西町1丁目5番1号　TEL0166-82-2121　発行所/東川町農業協同組合　責任者/牧　清隆　編集者/営農販売部　営農指導課